



報道関係者各位

プレスリリース

2011年7月6日

アイプレスジャパン株式会社

**アイプレスジャパン、電子書籍ビジネスを支援する「i-Press サービス」を SaaS で展開開始
～ フォーマットフリー、ビューアフリーを実現し、ePub にも対応可能な DRM サービス ～**

デジタルコンテンツの著作権保護ソリューション(DRM/DLP)を展開するアイプレスジャパン株式会社(以下、アイプレス)は、電子書籍ビジネスを支援する DRM ソリューションの SaaS サービスである、「i-Press サービス(アイプレスサービス)」を 2011 年 8 月 22 日より開始することを発表しました。ビジネス対象は、コンテンツホルダーや、ビューア開発者、コンテンツ取次、電子書籍ストア、電子書籍化ソフトベンダー、図書館、一般企業など多岐にわたります。また、7 月 7 日から開催される第 15 回国際電子出版 EXPO にてサービスの詳細を公開します(ブース:9-32)。

既存の電子書籍が持つさまざまな制約から解放する i-Press サービス

現状の電子書籍のビジネスにおいて、何らかの技術的制約があり読者が読みづらさを感じてしまったり、自由な読書体験を阻害したりするケースがあります。その多くは DRM がきっかけを作っている場合もあるようですが、DRM フリーでビジネスを推進するのは難しいものです。そんな中、DRM を意識させずに、著作権保護を実現できる技術への期待が高まってきました。アイプレスでは、そのような要望に応える次世代の DRM サービスである i-Press サービスを展開します。

i-Press サービスは、デジタルコンテンツの不正利用を効率良く防ぐ DRM/DLP ソリューションです。今回発表する著作権保護 SaaS サービスにより、デジタルコンテンツビジネスに関連する企業は、容易に DRM を導入可能になりました。コンテンツごとに柔軟に保護ポリシーを設定でき、複数の電子書籍ストア間において共通の保護設定ができます。フォーマットフリーやビューアフリーを実現し、端末機種変更の自由度も増しているため、さまざまなコンテンツ保護の制約から解放され、読者にとっての DRM ストレスを軽減することが可能になります。

『既存電子書籍の制約および課題』と『i-Press サービスで解決できること』の一覧

| | 電子書籍の課題 | i-Press サービス |
|----------|------------|---|
| 対応フォーマット | △ 特定のものに対応 | ○ フォーマットフリー。自由なコンテンツ制作が可能。ePub、pdf、.book、xmdf、mobi、PNG、JPEG、h.264、MP3、FLV、MS-Office、DWG、PSD、ai、その |

| | | |
|------------------------|--|--|
| | | 他、ファイルになるもの全て。 |
| ePub や Zip ファイルの中身への対応 | × | ○ ePub や ZIP ファイルの中身のファイル個々に異なる保護ポリシー設定可能 |
| リッチコンテンツ対応 | ×または△ | ○ 電子書籍のみでなく映像、音楽、その他のコンテンツも対象 |
| 対応ビューア | △ 特定のものに対応 | ○ ビューアフリー。「汎用的なビューア」にも「独自のビューア」にも対応可能 |
| ビューアへの組み込み容易性 | △ 開発要素が多い | ○ 調整レベルで対応可能。独自ビューアでも DRM を容易に設定可能 |
| 端末の制約 | ×または△ 異なる端末での利用に申請や解除手続きが必要。端末を特定する場合もあり | ○ 利用端末の切り替えがスムーズ。例)家ではタブレットで、通勤時はスマートフォンで視聴 |
| 機種変後の閲覧 | ×または△ 購入したコンテンツが開けなくなる場合がある | ○ コンテンツに対応するビューアがあれば閲覧可能 |
| DRM としての信頼性 | ? | ○ 製造業などの設計図や解析データ等の協業企業への持ち出しや海外工場などとのクリティカルな取引にて実績のある技術を電子書籍向けに開発 |
| コンテンツのレンタル | ○または× | ○ 貸し出し期間をコンテンツホルダーが設定可能 |
| オフライン時の閲覧 | ○または× | ○ 閲覧可能時間をコンテンツホルダーが定義可能 |
| BtoB のドキュメント管理的な利用 | ? | ○ 企業の機密文書、マニュアル、映像、設計図、画像などを閲覧権限者のみに開示可能 |

電子コンテンツビジネスを支援する i-Press サービス

■コンテンツホルダーにとっては、フォーマット種類やビューアの種類がなくなる事で自由なコンテンツ制作が可能となり、電子書籍ビジネスの可能性が広がります。レンタル期間設定もコンテンツごとに設定可能なため価格設定のテストマーケティング的にもレンタル機能を利用可能です。

■ビューア開発者や電子書籍化ソフトウェアベンダーにとっては、自由にビューアをアップデート可能で、DRM の開発工程やコストを考慮する必要がありません。Android にも対応します。

■図書館での利用については、著作権が残るコンテンツに関して版元や作家とのビジネス的な課題をクリアできれば、すぐにでも電子図書館を運営可能です。

<アイプレスジャパン概要>

| | |
|--------|------------------------------|
| 社名 | アイプレスジャパン株式会社 |
| 資本金 | 1000 万円 |
| 設立日 | 2010 年 10 月 5 日 |
| 本社所在地 | 千葉県流山市前平井 61 番地 ESSビル |
| 東京オフィス | 東京都新宿区新宿 1-27-2 ルミエール御苑 8F |
| 代表者名 | 玉木正巳 |
| 事業内容 | デジタルコンテンツ著作権保護サービス、電子書籍ストア運営 |

■本件に関するお問い合わせ先

アイプレスジャパン株式会社（味戸）

電話番号: 03-6380-5188 / Eメール: ipress_info_jp@i-press.net

URL: <http://i-press.jpn.com/>